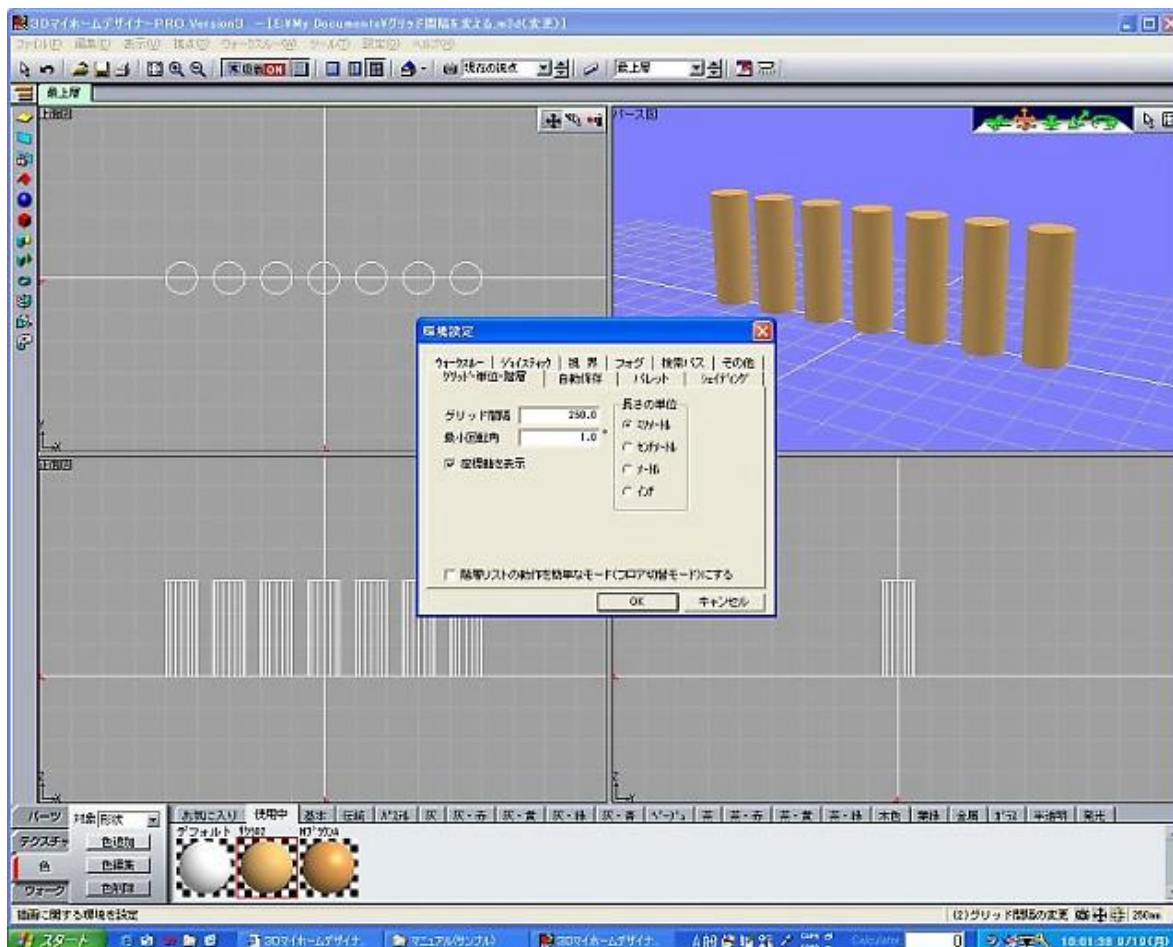


グリッド間隔について

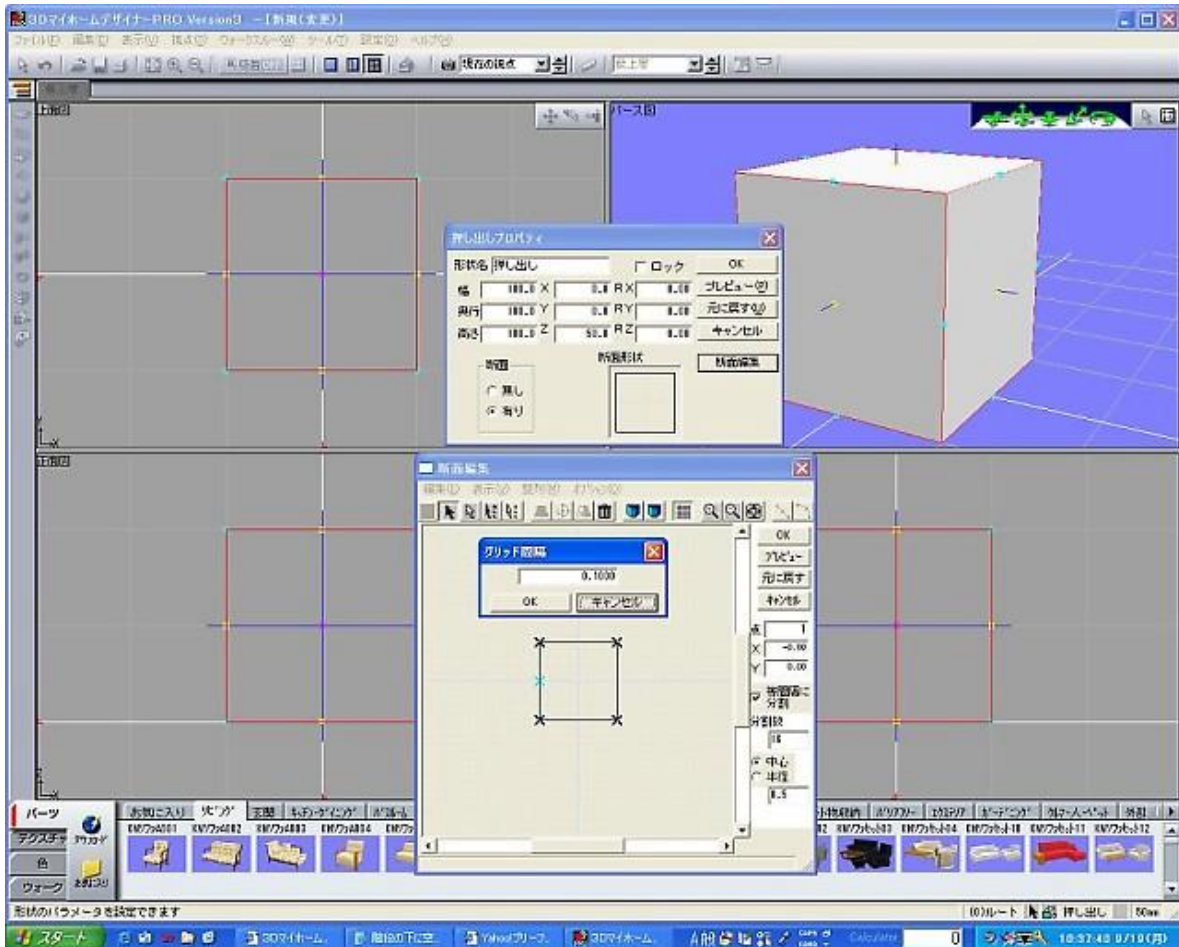
グリッド間隔はどの作図段階でも自由に変えられます。添付の『グリッド間隔. m3d』ファイルで丸棒を数本描いていますが丸棒の階層でグリッド間隔を250mmに変更しています。この段階で丸棒を1本描いた後に【吸着ON】として【コピー】→【貼り付け】処理で簡単にかつ等間隔で並べる事ができます。作図が終了したら上の階層に戻り前のグリッド間隔に戻して作業を続けます。



次頁に続く

『断面編集』画面のグリッド間隔について

グリッド間隔の単位は『断面編集』画面内の1グリッドを1.0とした相対数値です。添付図のようにグリッド間隔を0.1にすると横、縦共グリッドは10個となります。すなわちパーツの仕上がり寸法との直接的数値的関連はありません。



位置合せについて

『3Dマイホームデザイナー』には『壁や他の物に沿わせる』機能がありピッタリ合せる事ができます。私も最初はピッタリ合せて作品を作り上げていましたが無駄な労力だと気がきました。最近の作品は全てフリーハンドで合せています。機械設計に使う【3DCAD】ですと合せ機能が充実していますが『3Dマイホームデザイナー』の使用目的を考えると神経質になる必要はないかなと思います。最近では作品の最終目的に合致した精度で作れば良いかなと妥協しています。

次頁に続く

『押し出し』ツールでの形状合せ

まず、下図のように境界線をドラッグして側面図を拡大しておきます。次に『断面編集』で断面図を拡大して作業します。この状態ですと合わせる元図も大きく見えますから容易に作業できるかと思えます。

図面の境界線は下段図のように【表示】→【図面の境界線を中央に戻す】を選択すると中央に戻ります。

